

Windows7のサポート終了に向けて早めの準備を！

平成32年(2020年)1月14日に、Windows7の延長サポートが終了します！

Windowsのサポート期間について

- Microsoft社の製品サポートは、製品発売後、最低5年間のメインストリームサポートと、最低5年間の延長サポート(合計最低10年間)が提供されます。
- メインストリームサポートは、セキュリティ更新プログラムのほか、仕様変更や新機能の追加、セキュリティ関連以外の修正プログラムについてもリクエストを受け付けるなど、幅広いサポートを提供。
- 延長サポートは、メインストリームサポート終了後に新たに5年間にわたって提供されるサポートサービスですが、脆弱性を解消するセキュリティ更新プログラムの提供が中心。
- 延長サポートが終了することで、セキュリティ更新プログラムの提供や有償サポートを含むすべてのサポートが受けられなくなります。

- * すでにWindows7はメインストリームサポートが終了し、延長サポート期間に入っています。
- * メインストリームサポートが終了すると直ちにセキュリティリスクに晒されるわけではありません。

サポート終了後はセキュリティリスクが急増

- サポート終了後は、脆弱性やバグなどが見つかったとしても修正プログラムは配信されないため、脆弱性を解消できず、マルウェアへの感染など様々なリスクが急増します！



計画的に新しいOSに移行する準備をしましょう

- 延長サポート期間中は、新しいOSへ移行する“猶予期間”とも言えます。
- 完全にサポートが終了する前に、新しいOSに移行する準備を進めましょう。
- サポート終了を間近にして慌てることのないよう、計画的に移行準備をしましょう。
- **特に大規模事業者など、パソコンの台数が多い事業者はすべてを完全に移行するまでに膨大なコストや時間がかかります!!**

- * やむを得ない事情等によって、延長サポート終了時まで移行が間に合わない場合は、セキュリティ対策ソフトや「仮想パッチ技術」を利用することで対処することになりますが、これらの対策は一時的な措置に過ぎません。
- * 速やかに新しいOSに移行することが強く推奨されます。

本年7月時点でのデスクトップ型パソコンのOSバージョン別シェアは、**Windows7が約5割**を占めています！

* Net Application: Operating system market shareより